ナナドラのあのね
18
FOR ADULT ONLY
かぜうま

〝滅びの花〟は
恐ろしい花だ
いくつもの
街や村が
フロワロに沈み
数え切れない
人々が犠牲になった
そんなことは
子供だって知ってる
なのに俺はこの時
フロワロに沈んだ村に
ふらふらと
入っていこうとする
少女を見て
不謹慎にも
こう思っちまった
なんて
綺麗なんだ
——って

ボリ
ボリ

カザンに来てみたのはいいものの…

どこのギルドも殺気立ってて空気悪いなぁ…どうすっかな〜

そういえばここに来る前…フロワロに沈んだ街で会ったあのルシュの子…あれからどうしたかなぁ……

無事だといいけど…

止めたらすっげ睨まれて怒られちゃったけど……

ん？

ッッッ

ッッッ

やめてっはなしてっ

はなしてよぉっっ

うるさい！

いいから黙ってこっちに来い!!

おい！

女の子一人相手に二人がかりでなにやってんだよ？みっともないぜ

ああ!?

なんだテメーは

すっこんでろっ!?

ゴ!!!

ドスッ

ビィィィン

大丈夫だったか？
ハントマンの中には乱暴なのもいるから気をつけなよ
……って……
あれ？
……
ひっく……
ひっく……
ひっく……
……君は……
今日から俺は――
運命ってものを信じることにしようと思う

あ――っ
今日も
みつからなかったなぁ
イクラクンの
お師匠さん
……うん

探しはじめて
もう二週間か…
もしかしたら
もうこの街には
いないのかも
しれないな
はーっ
……うん

……
そんなに
気を落とすなよ
まだ
いないって
決まったわけじゃ
ないんだからさ
……うん

じゃ
じゃあ俺は
部屋に
戻るからよ
明日また
がんばろうぜ！
な！
……あ

はしっ
おうっ!?
とと……っ
どうしたんだ？
イクラクン
しっかっ
……もう……やだ……
ぎゅうう
兄さんも
いない……
お師匠様も
いない……
ボクがこの街で
知っている人は
君だけしか
いないんだ……
いかないで……
さみしいよ
ぐすっ
一緒にいて……
一緒にって
……
……
ドキーン
……
いや！
いやいやいや!!
かわいい
マズイよ
こんな夜中に
男と女が
ずっと二人きり
ってのはさ！
ブンブン
かわいい
ハッキリいって俺
間違いを
犯さない
自信がない!!
だからっ
な！
……
それでも
いいから……
だろ!?
じゃあ……
ポツリ

君なら……
いいよ…
きゅーん
だから……
そばにいて……
グスッ
うわあああああ
ガラ
ガラ
ガラ
ガラ
まったく……
こしっ
あ
こんなに無用心で
泣き虫のハントマン
なんて……
聞いたことないぜ……
ギミッ
……ん…
ドキッ

なぁ
本当にいいのか？
うん……だって
この間みたいにまた怖い目に遭うかもしれないし
それだったら……君に…
ミキ
ミキ
ミキ
ミキ
ミキ
ミキ
はぁ
ばかだな……
今は俺がついてんだから
絶対そんな目には遭わせやしないさ
ギシッ
初めてか？
うん……
だから優しくしてね
わっ わかった
モフ
モフ
あ……耳…

脱がすよ
あ……
はっ
はっ
はっ
あ
うわぁ～～～～～～
イクラクンの胸…
やわらけぇ～～～
ね……
おねがい…
耳も……
さわって……？
！
むに むに
耳をさわられるの
気持ちいいの？
うん……
耳…好き…

どう？
うん……きもちいい……♡
すごい感じてる…
かわいー♡
そろそろこっちも……

んむっ
んぅっ…
ちゅ
ちゅぱ
ちゅぱ
んふっ
んぅふぅっっ
くちゅ
くちゅ
くちっ
ぬちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

ふあぁっ
こしっ
くぢゅ
くぢゅ
あ
あ

はっ…ぅん
あ
アニャあぁ

はーっ
はーっ
くんっ
ぱぎぃっ
カチャ
カチャ

ぺろっ
にちゃ…
もう大丈夫かな…

どきっ
は
は
は
あ……
は

ぴゃっ!?
びっくりーん
ビクッ
…そっ
それを…
いれるんだ…

恐い？
ううん…
君なら……平気…
力抜いて…
ぬるっ
ぬるるっ
こすれるっ
んっ…！
ひっ
ゼクンッ
はうっ…あっ
あぁぁぁっ

痛いか
イクラクン!?

う……あぁ

ブル

ブル

ブルブルブル

はっ

はぁっ

ぜっ……はぁ

だい……じょぶ…

きちっ

きちっ

きちっ

大丈……夫…
だから…

でも

想像…してたほど
痛くはないから…

平気…だから
好きに……
動いて…

はっ

はっ

はっ

本当に
大丈夫かなぁ…

心配…

んんーーーっ

あ

はっ

はぁっ

ぬっ

ぬぷぷ

ぬぷぷ

ぬぷぷ

あっ…

う

うぅぅ!

んくっ

……やっぱりいたい……

痩せガマンしてウソつくなよ……

うぐっ

ずびっ

ごめんな痛くしちゃって

すぐに終わるからあとちょっとだけ我慢してくれるか？

なでなで

……うん

きゅーん

あぎゅう

ギッ

ギッ

はっ

はっ

はあっ

ぬぬっ

ぬぷっ

ぬく

ふあああっ

おね……がい……

はっ

はっ

はっ

はっ

もういっかい…キスして……

はっ

はっ

はっ

イクラクン……！

ふあっ
あっ
あっ
あっ
はっ
はっミュウ
はんっ
から……だっ
はーっ
はーっ
はーっ
はっ
はん
あ
あん
ゼクゼクゼク

ぶあ!!?
あぁ…あっ
ゼクゼクゼク

竜を滅ぼす魔法？

……うん

へぇ～～～～だから連中あんなに殺気立ってイクラクンに絡んでたのか

……君は

どう思う？

ん――――まぁそんな魔法が本当にあれば凄いだろうなぁ

あのドラゴンを本当に滅ぼせたらエデンを救う英雄にだってなれるだろうしな

ギッ

……そう……

けどさっ

それってあのドラゴンを倒せちまうくらい凄い威力の魔法かもしれないってことだろ？もし本当だったらちょっと怖いかもな

その魔法が広まったりしたら悪用したがる奴も出るだろうな

……！

…でイクラクンはお師匠さんに会ってその魔法を教わりたいんだ？

もふっ

……わからない…

竜は…憎いよ…父さんも…母さんも…竜に…

けどそんな物騒で恐ろしい魔法……ボクは…どうしたら……

そんなに難しく考えることないさ！そもそもまだそうだと決まったわけでもないんだしさ！

ポン

それにどんな凄い道具や知識だって使う人次第で役立つこともあれば害になることだってあるだろ？

イクラクンなら正しく使えるんじゃないか？

……

ありがとう……

へへっ明日もがんばろうね

ああ！見つかるといいな！イクラクンのお師匠さん

うん！

そういえば性別を偽り入国を謀った男の仲間たちはどうしました？

例の部屋に入れておきました

じき仕上がります

ふぅ

んぐ

ンンンーんぐ

あ〜〜

あ〜〜

一人、強情な娘もいたようですが……
はな!
あぶ
や
ぐぢ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

はー!
はー!
ミみ
ガッ
ドッ!
ぬぬ
ぬぬ
ぬぬ

問題ないでしょう

illustration:UME

くくくく

くう…

なに…をする気だっ!!

くそぉ やめろぉ…っっ

やめろおおおっ!!

ビリッチ!!

くくく

貴様は後で相手をしてやる

くっ…

自らの騎士が堕ちてゆく様を観ているがいい

くっ…

くそぉ

一思いに殺せぇ!

鎧の……隙間から……!?

侵入って……

くくく…我が闇の力の前では防具など何の意味もなさぬわ

侵入ってくるなあああ!!

あ……？
なに……これ…
身体…が…
あ…づい……っ
こ……んな…
こんなの……っで……
深き闇が与える永久の快楽に溺れるがいい
あっ
あう…
ああ
ビリッチ！しっかりしてビリッチ!!
ひぁ
どうした？姫が呼んでいるぞ答えてはやらないのか？
答えられないなら我が代わりに教えてやるとするか貴様の現状をな…
ひっ…
やめ…っっ
ほれこの通り美味そうに咥え込み女陰を濡らし快感に震えておるわ
やめてぇぇん
ビリッ
ビリッ
ビリッ
ビリッ

見ないで……！
ひぃ
ブル
ブル
ブル
ブル
ひゃう
あっ
あーっ♡
あぅあーっ♡
あーっ♡
あーっ♡
ガク
ガク
あーっ♡
ギュギュ
ぷっ
ぷっ
ぷっ

くくくくくくく
なんと他愛のないことだ

あぁ…

ビリッチ……

英雄などと
呼ばれていても
所詮は人間だな

あ…っ

そうだ…それでいい
それでこそ
驚りがいがあると
いうものよ…！
くっ
ぶるんっ

騎士（ナイト）の娘よりも
発育が
いいようだな
レロ
くっ
え…っ!!!?

うそ……!?
ぷくっ
ぷくっ
くっ…
ふっ
くにゅ
くにゅ
んくっ
そんな……
胸だけで
こんな……!!

ん…？　くくく
どうしたのだ？
先ほどまでの威勢は
く……う
震えているぞ？
感じているのか？
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり
まぁっ
誰が……っ
感じたり…
するもの…ですか…！
ほう…

くくくくくくくくっ
……ならば
なっ!?
・・・・こちらに直接訊いてみるとするか
やっ…やめっ
ばっ
おや…これはどうしたのかな？ずいぶんとシミになっているようだが
ひっ!
ひっ!!
ぐちゅ
ぐちゅ
我の責めなど耐えられるのではなかったのか……
な!?
さわらないでぇ
ひあっ
あ
あ
あ
この豆が特にお好みのようだな…どれ
やっ
やめ
布越しでは物足りなかろう？直接しごいてやるとしようか
やめぇ
もう許してぇぇ
ぐちゅっ

ひっ
あ
あ
あ
あっ
あっ
あ
あ
あ
ひ
ひ

くはははははっ

まさか前戯で漏らすとはな

とんだ英雄もいたものだ

しかし…

ぷるぷる

ぴちゃっ

本番はまだこれからなのだぞ？

ひっ ひぃぃぃ

やめっ

ゆるして

おねがいだからあぁぁぁっ

お願い…!!

さあ…高らかに囀り

謳うがいい……！

めぇぇぇぇ

あぁぁぁぁぁぁ

どうだ
最早破瓜の痛みさえ
快感のスパイスでしか
あるまい？
どれ…
この
締まりの悪い穴も
寒いでやるとするか
ふはははは
もうなにをされても
快感以外何も
感じないようだな

ひーーーぐ
あぼっ
じゅぼ
ぐぽ
じゅぼ
ぐぽ
ひーーーぐ
はひーーーぐ
さあ享楽の波に
闇の快楽に呑まれるがいい

ふぁぁ♡
あぁぁ
ぁぁ〜〜♡
ビクビク
ぱくぱく
あ〜〜♡♡♡
じゅぷっ
ぬぽっ
ぬぽっ
ぱぁぁ
ぁぁぁ〜〜♡
くくくく
もう完全に快楽の虜だな…
ビクビク
あぁぁ〜〜〜♡♡♡
ぁぁ〜〜♡
ぁ〜〜♡
ぁ〜〜♡
ブルブル
ぁっ
ずいぶんと簡単に堕ちたものだ
もう少し抵抗してくれてもよかったのだがな
ぁぁ♡
ぁぁ♡
ぴぴ♡

お前たちには
このデッドブラックの仔を
孕ませてやるとしよう…
悦ぶがいい

あ―っ♡

あ―っ

あ―っ♡

あ―っ♡

あ―っ♡

あぁ♡

あなかっ

あぁぁの
はぁ―っ♡
でるぅぅぅ♡♡♡

イグッ

イぐゃぁぁぁ♡♡♡

来るべき滅びの日が
訪れるその瞬間まで

お前たち英雄が
世界に闇を撒くのだ

いいこと？
私を抱けるなんて
あなたにはもったいないくらい
なんですから、
光栄に思いなさいよね！
え……？　上着は着たままがいいの？
やだ…あなた変態じゃないでしょうね
なっ　なによ
ニヤニヤしながら眺めないでよ
気持ち悪いっっ
こっこっ
小ぶりで
悪かったわね!!
こ…このぐらいが好き？
ほっ　本当なんでしょうね？
嘘だったら許さないから！
ちょっ!?
ななななんてカッコ
させるのよ!!
恥ずかしいじゃない！
わあぁっっ!?
ばばばかぁっっ
そんなところ
広げるなぁっっ!!!

そっ　そうよ
初めてよ
不満なの!?
私の初めてをもらえるんだから
喜びなさいよね

う…うれしい？
な…なによ
そんなに喜ばれたら
恥ずかしいじゃない…

あっ…
あなたの方は
どうなのよ…!?

そっ　そう……
あなたも初めてなの…
そう……ふうん…
そう……なんだ…

なっ　なによ！

別に嬉しくなんてないわよ
初めてだからって痛くしたら
許さないんだからね！

もう…い…いれるの…？
バッ　バカ！
恐いとかじゃないわよ！
でも…

もうガマンできない？
し…しかたないわね
いっ…いいわよ…
優しくしてよね

いっ……！
いたっ……！
いたいっ!!

痛いわよ
バカぁっ

もっと優しくしてよ
バカバカバカアッ！
〈タクソ！〉
甲斐性なしい！
なんとか言いなさいよぉ！

あやまったって
ダメなんだからぁ……

…抱きしめてくれなきゃ
ゆるさないん……だから…

はぁ…
ふっ……う…

ちょっと…
楽になって…
きたかも……

うぅ……っ

ふっ……

ふぅ……ぅ

だんだん…
痛くなくなってきたから……
少しづつなら…動いてもいいよ…

ん……

は…あ…っ

あ……
なんだか……
変な感じ……

こんな気分…
はじめて……
かも……

え……？
きも…ち……？
バッ　バカッッ
そんなわけ…ないでしょ！

今だってまだ
痛みは残ってるんだか…
ひゃうんっ!?
ヘンなところさわらないでよぉ！

んくっ…はっ
はうんっ
きっ…きもち…
よくなんてっ
ないんだからぁ
ふぁあ♡
ないんだからっ
ないん…らがらぁ♡
あっ♡
あぁん♡

ふぁっ!?
なっ…かで……
ビクビクいってるぅぅっっ♡
は――っ
は――っ♡
こんなに…なかに出しちゃって
できちゃったらどうする気よ
このおばかぁ♡
もしそうなったら…
ちゃんと責任…
取りなさいよね♡

あとがき

■表紙の文字がメメドラに見えてきて仕方ありません。南☆です。
今回はみなさんの予想通りナナドラでお送りしました。
やっぱり最初はイクラクンかな～と描きましたが、
なんか、こう、ちょっと違う！　な感じになってしまいました。ごめんなさい。
他にも描きたい子がいるのでこれ以外にも描けたらいいな～と思ってます。
しかしながら今後わりと忙しくなりそうな気がしないでもない感じなので、
どこまで描けるかどうかわからないのが難しいところ。
なんとかがんばりたいものです。

■今更ですが、イクラクンの話はチビキャラトークと始まりの物語を元に
描いているのですが、そっちを読んでないといささか意味不明な
感じになっちゃいました。
なんとなくそんな雰囲気なんだな～と思っていただけるとありがたいです。

■世界樹の本ばかりアホみたいに何冊も出してよっぽど好きなんだなコイツ。
どうせその流れでナナドラなんだろ？　と思われてそうですが、
はい！　その通りでございます！
で、実際遊んでみてどうだったのかというと、
皆さんと同じ細かな不親切部分で不満たらたらです！
誤解のないように言っておけば、基本的に好きです。
好きです、が！　これだけは言わせていただきたい。
お前は本人に直接聞いたかもしれんが
俺たちは一言も大統領本人から世界を託すとか
旗印になってくれとか聞かされてねぇんだよ
勝手に高圧的な態度で命令してんじゃねーよ
このクソメガネ！

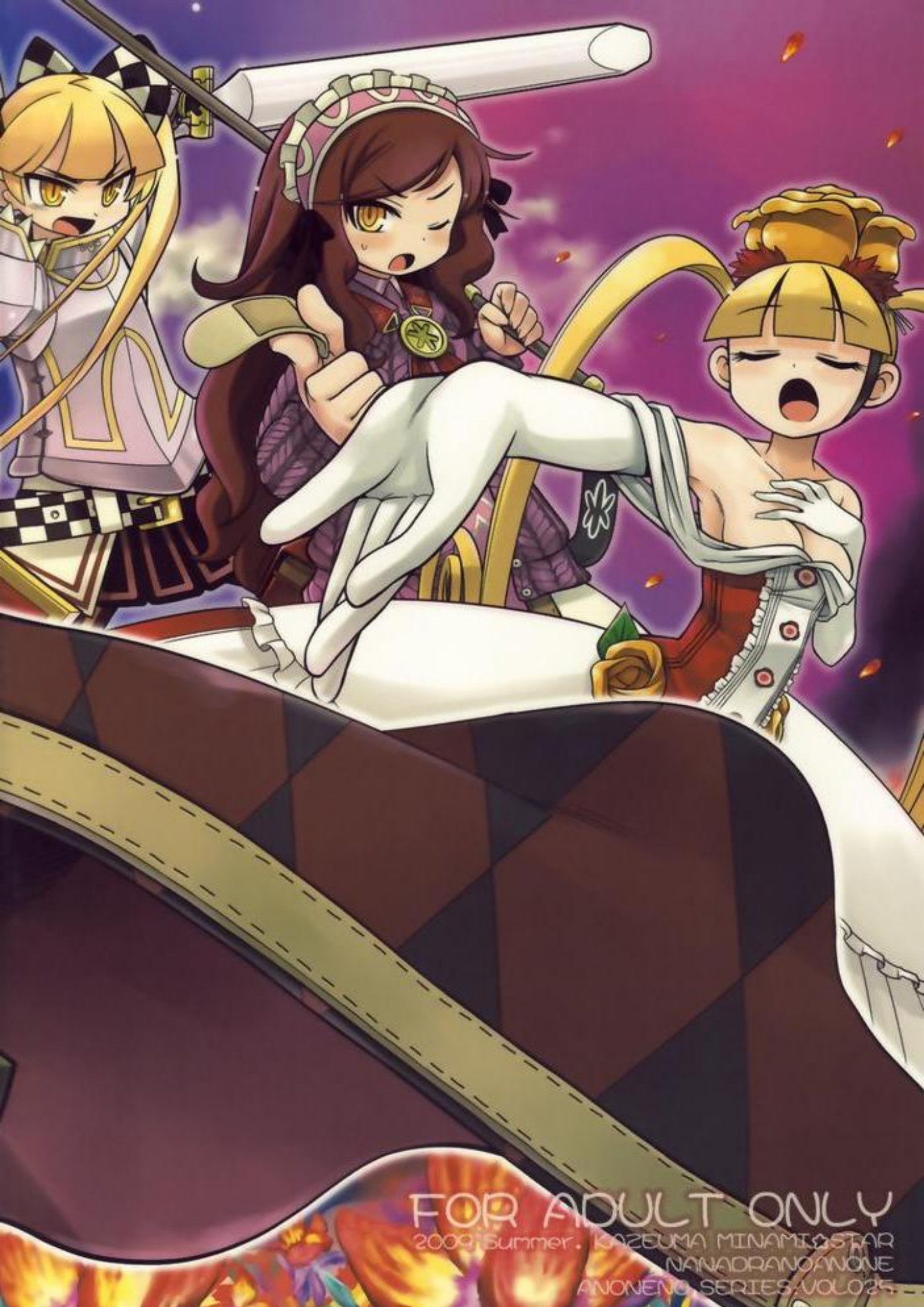
■最後になりましたが、今回お二人のゲストさんに
寄稿していただきました！
やっほう！　Congratulation！
日向悠二さん、うめさん、どうもありがとうございます！
お二方ともお忙しい中すみませんでした。
特に日向さんには入稿ギリギリまでがんばらせてしまい
恐縮で ((((;゜д゜))) ｶﾞｸﾌﾞﾙ です。
時間が足りず影付けができなかったと嘆いておられましたが
なんかもう現時点でも既に圧倒的で目を見張るばかりで
眼福です。てゆーか反則です。
うめさんのイラストはうめさんが寄稿した他の作家さんの
ナナドラ本のものと対になっています。
140ページほどもある分厚いあれです。
機会があればそろえて見比べてみるのもいいやも！
つーか、全てのキャラがことごとくペタン娘とか！
さすがすぎます。
もう一度、お二人ともどうもありがとうございました！

■それでは、最後になりましたが
この本を手に取ってくださった方、
どうもありがとうございます。
また別の作品でお目見えできれば幸いです～。

01～17　イクラクンのあのね
18～21　■■　by日向悠二
22　イラスト　byうめ
23～34　ノーラとビリッチのあのね
35～40　ロザリーのあのね

■誌名　：ナナドラのあのね
■発行　：かぜうま
■発行者：南☆
■発行日：2009年7月20日
■連絡　：isogai@big.or.jp
■印刷　：POPLS

※未成年者の所持閲覧を固く禁じます
※無断転載・複製、ネット上へのアップロードは厳禁です


FOR ADULT ONLY
2009 Summer. KAZEUMA MINAMI☆STAR
NANADRANOANONE
ANONENO SERIES VOL025